



マスター・ハイブリス・メカニカ・キャリバー**362**の新しい表現、 ミッドナイトブルーのダイヤル

ミニッツリピーターとフライングトゥールビヨンを超薄型自動巻キャリバーに搭載

概要：

- ポリッシュ仕上げのホワイトゴールドとミッドナイトブルーのコントラストを際立たせる新しい美学
- 特別に開発された6つの発明を含む、8つの特許を取得した技巧
- 革新的なフライングトゥールビヨンと卓越したチャイム

マスター・ハイブリス・メカニカ・キャリバー**362**の発表から10年を記念して、ジャガー・ルクルトはこの極薄のミニッツリピーターに新たな解釈を加え、18K ホワイトゴールド製ケースに深いミッドナイトブルーのサンレイ仕上げダイヤルを備えた5本限定モデルを発表しました。

マスター・ハイブリス・メカニカ・キャリバー**362**は、その技術的な野心だけでなく、純粋な美しさにおいても世界的に高く評価されており、グランメゾンの発明性と卓越した時計製造の技術の証となっています。また、発表当時は、トゥールビヨンを搭載した腕時計としては世界で最も薄いミニッツリピーターウォッチの一つでした。現在でもジャガー・ルクルトのミニッツリピーター・コレクションの中で最薄の7.8mmを誇り、非常に希少な自動巻のハイコンプリケーションムーブメントとなっています。566個の部品で構成されるキャリバー自体の厚さはわずか4.7mmです。

音と精度の遺産を生かして

マスター・ハイブリス・メカニカ・キャリバー**362**を制作するため、ジャガー・ルクルトはチャイム機構搭載キャリバーと精度という2つの重要な分野において、その卓越した遺産を生かしました。

1870年に初のミニッツリピーターが誕生して以来、グランメゾンは200種類以上のチャイム機構搭載キャリバーを開発しており、比較的簡素なアラーム機構から、極めて複雑なグラン・ソヌリやウェストミンスターチャイムに至るまで、その幅は多岐に渡ります。マニユファクチュールの時計職人た



ちは、チャイム機構の効率性と、生み出される音の明瞭さと美しさの両方を向上させることで、音質の再定義に絶え間なく取り組んできました。

1833年の創業以来、グランメゾンの中核をなす価値観である精度は、2つの分野で追求されてきました。1つ目は、部品の小型化と極薄キャリバーの開発による製造の精度、そして2つ目は、ヒゲゼンマイの形状や異なる形状のトゥールビヨンなど、調速機構の徹底的な研究と革新による計時の精度です。

メゾンの卓越した超薄型時計製造の歴史は、洗練された技術と精巧な美しさを常に融合させるという哲学に由来しています。100年以上にわたって薄さとエレガンスを追求し続けるきっかけとなったこの開発のマイルストーンは、1907年、エドモンド・ジャガーとジャック＝ダヴィド・ルクルトの提携により、世界で最も薄い懐中時計が誕生したことでした。

精巧な美しさで高められた洗練された技術の傑作

マスター・ハイブリス・メカニカ・キャリバー362は、8つの特許を取得しています。そのうちの2つは、クリスタルゴング（2005年）とトレビュシェ・ハンマー（2009年）という、チャイム機構に関連する過去の発明で、6つはこのタイムピースのために特別に開発された発明です。

- フライングテンプ
- フライングトゥールビヨンのフライングテンプ
- S字型ヒゲゼンマイ
- ミニッツリピーターの固定巻き上げストローク
- ミニッツリピーターに格納式プッシュボタン
- ミニッツリピーターのサイレント・タイムラプス・リダクション

薄型化という目標を達成するためには、キャリバー362の調整機構を全面的に見直す必要があり、ジャガー・ルクルトは新しい形状のフライングトゥールビヨン、つまりフライングテンプを搭載したトゥールビヨンを開発し、特許を取得しました。この構造ではヒゲゼンマイも再考する必要があり、その結果、特許を取得したS字型ヒゲゼンマイが誕生しました。このヒゲゼンマイは、見えるようにテンプの上に固定されています。キャリバーの全体的な厚みを減らし、トゥールビヨンのケージを外すことで、テンプを大きくすることができ、21,600vphという振動数（このような大きなテンプを備えたトゥールビヨン・ムーブメントでは異例の速さ）によって安定性が増し、計時の精度がさらに向上しました。技術的な偉業だけでなく、フライングトゥールビヨンのデザインには美的な利点もあります。ブリッジやアッパーケージがないため、魅惑的な振動を表示する際の視覚的な妨げがありません。



キャリバー**362** は、自動巻という利便性を提供するために開発された自動巻ムーブメントです。しかし、そのためにジャガー・ルクルトの時計職人たちは、通常はムーブメントの上部にある、厚みを増す巻き上げローターのデザインを再考する必要がありました。その解決法は、ペリフェラルローターを開発することで、高度なコンプリケーションの腕時計ではまったく新しいことでした。キャリバーの周囲には、必要な重量を生み出すためにプラチナが使用されており、セラミック製ボールベアリングに取り付けられているため、摩擦を最小限に抑えながら自由に回転します。ローターが回転する様子は、ダイヤル周囲の溝から観察することができ、視覚的な興味をそそります。また、シースルーのサファイアケースバックからはムーブメントを眺めることもできます。

クリスタルゴングとトレビュシェ・ハンマーが、チャイムの質を高めています。時計のガラスに直接取り付けられたゴングは、サファイアクリスタルを共鳴装置に変え、その素材の優れた音質を利用します。接続したハンマーは、従来のミニッツリピーター構造で失われたエネルギーの大部分を回収し、かつてない強度のチャイムが完成しました。

時計職人たちは、これらの要素を新しい発明であるサイレント・タイムラプス・リダクションで補いました。打音機構と一体化することで、クォーターアワーが打鐘されない場合、時と分のチャイムの間の休止時間を短縮します。従来のミニッツリピーターでは、クォーターが打鐘されない場合、時と分のチャイムの間に長い休止時間がありましたが、この新機能により静寂時間が短縮され、時が打鐘された後、速やかに分が打鐘されます。

ジャガー・ルクルトのエンジニアは、時計の美しさに目を向け、ミニッツリピーターを作動させる新しい機構を開発し、特許を取得しました。ケースサイドの**8** 時位置にある目立たないロック解除ボタンと、**10** 時位置にある格納式のプッシュボタンです。ロックボタンを動かすとプッシャーが飛び出し、プッシャーを押し込むと打音機構が作動し、再び作動するまでプッシャーは凹んだままとなるため、ラウンドケースのピュアなラインが保たれます。このリピーター作動システムは、ケースをより簡単に防水仕様にできるという性能上の利点ももたらします。防水仕様のミニッツリピーターは極めて稀で、マスター・ハイブリス・メカニカ・キャリバー**362** は**3** 気圧の防水性を備えています。

ミッドナイトブルーのダイヤルとポリッシュ仕上げのホワイトゴールド製ケースのコントラスト

直径 **41mm**、厚さわずか **7.8mm** のマスター・ハイブリス・メカニカ・キャリバー**362** のケースは、ジャガー・ルクルトの**20** 世紀初頭のエレガントな超薄型懐中時計、特に**1907** 年のクトー（ナイフ）懐中時計に着想を得たものです。

その優れた音質から、素材にはホワイトゴールドが採用されました。そして、ミッドナイトブルーのサンレイ仕上げのダイヤルが、ハンドポリッシュ仕上げのベゼル、サイド、先細りのラグとのコントラストを際立たせています。



ディープブルーを背景にしたシンプルなダイヤル表示は、細長いドーフィン針、シンプルなボタンで示された時表示、白いドットで示された分表示など、ジャガー・ルクルトの歴史的な懐中時計へのさりげないオマージュでもあります。

高級時計の仕上げがふんだんに施され、一部のブリッジにはコート・ド・ジュネーブ装飾と手作業による面取りが施されています。特徴的な鋭角の内角は、メティエ・ラール™のアトリエの職人の技術と細部へのこだわりを物語っています。細部へのこだわりの証はダイヤル側にも見られ、ペリフェラルローターの一部には繊細なスネイル仕上げが施されています。

このタイムピースのために開発された 6 つの発明を含む 8 つの特許を持つマスター・ハイブリス・メカニカ・キャリバー362 は、マニユファクチュールが時計製造の技術革新の限界を押し広げようと、たゆみない探求を続けていることを雄弁に物語っています。

技術仕様

マスター・ハイブリス・メカニカ・キャリバー362

ケース：18K ホワイトゴールド

サイズ：直径 41mm x 厚さ 7.8mm

キャリバー：自動巻キャリバー362

機能：時、分、トゥールビヨン、ミニッツリピーター

パワーリザーブ：42 時間

ダイヤル：ディープブルーのサンレイ仕上げ

防水性：3 気圧

ストラップ：ブルーのアリゲーターストラップ、小さな鱗模様入り

リファレンス：Q1313581

5 本限定モデル



ジャガー・ルクルト - ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™

1833 年以来、ジャガー・ルクルトは、革新性と創造性への抑えきれない渴望に導かれ、故郷ジュウ渓谷の平穏な自然環境からインスピレーションを得て、複雑機構への熟練した技術とその精度で際立った存在となっています。ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™として知られるマニファクチュールは、**1,400** を超えるキャリバーの制作と **430** 以上の特許を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。ジャガー・ルクルトの時計職人たちは、**190** 年以上にわたる蓄積された専門知識を駆使して、最先端の精密なメカニズムの設計、製造、仕上げ、装飾を行い、何世紀にもわたるノウハウと情熱を融合させ、過去と未来をつないでいます。時代を超え、常に時と共にあります。**180** 種類もの専門技術がひとつ屋根の下に集結したマニファクチュールは、その技巧に、デザインの美しさと独特で控え目な洗練とを組み合わせ、高級時計に息吹を吹き込んでいます。

jaeger-lecoultre.com